

スクール・フォー・アフリカ 2019年度 ご支援報告

皆さまからのあたたかいご支援により、ユニセフは2019年度もブルキナファソの子どもたちが教育を受けられるよう様々な教育支援を実施することができました。

女の子、男の子、障がいのある子どもを分け隔てなく、すべての子どもたちが清潔で安全な環境で、子どもを中心に据えた質の高い教育を受けることを目的とした「子どもにやさしい学校」スキームの普及拡大を推進。校舎の建設や学用品などの提供だけではなく、教員の研修、学校関係者や地域の人々、保護者への啓蒙活動、学校運営の改善といった活動を通して、さらに多くの子どもたちの教育環境が改善されました。また、2017年から続く武装勢力の襲撃により厳しい状況下にある子どもたちへも、教育が途切れないうち支援を実施しました。

継続的なご支援は子どもたちへ教育を届けるための大変大きな支えとなっております。心より御礼申し上げます。



	2010年	2019年	(目標) 2021年
幼稚園の総就園率	2.8%	5.2%	15.0%
小学校の総就学率※	74.8%	89.5%	106.3%
小学校の修了率	45.8%	62.3%	100%
中学校への進学率	54.2%	68.0%	93.2%

※年齢に関わらず小学校に就学する子どもの人数が、小学校の就学年齢の人口に占める割合。事情により小学校への就学が遅れた子どもなどが多い場合、就学率が100%を超える場合がある。

01 清潔で安全な学びの環境を

- **4つの幼稚園、フランス・アラビア語学校を含む6つの小学校、2つの中学校**を建設・改修。椅子と机、スタンド式黒板、本棚や本といった図書室用品等を提供しました。
- ブルキナファソの北部と東部の治安悪化を受けて、緊急時対応プランの作成や危機管理委員会の設立、ストレス管理等に関する研修を実施しました。緊急時の適切な判断が子どもたちの命を守ります。
- **50校の教員100人**に月経時の衛生管理に関する研修を実施。女の子たちが生理を理由に教育を中断することがないよう、生理の処理方法や問題点について生徒が正しい知識を学ぶための「月経に関する衛生管理クラブ」の設置も進めています。



緊急時対応プランの予行演習



アフリカの子どもたちへ教育を

ユニセフは、女の子、障がいのある子ども、財政的・地理的に社会から取り残された子どもに焦点を当て、3～16歳(ブルキナファソの基礎教育期間)の子どもたちが確実に基礎教育を受け、修了できるよう支援を継続していきます。ブルキナファソでは中途退学してしまう子どもが多く、学校に通っていない子どもたちの教育へのアクセス向上が課題となっています。こうした子どもたちを取り残さないよう、学べなかった期間を取り戻すための集中学習センターの支援、奨学金や学習キットの提供、教員の研修、保護者対象の啓蒙活動を進めています。また、学校に通っていてもフランス語と算数における習熟度が低い子どもが多く、教育の質の改善が求められています。

ユニセフは今後、さらに360校への「子どもにやさしい学校」の拡大を通して質の高い教育の提供を目指します。

世界では、約5,900万人の子どもたちが小学校に通っていません。そのうち半数以上がサハラ以南のアフリカ地域の子どもたちです。より多くのアフリカの子どもたちに教育を届けるため、この度、ブルキナファソに加えてモザンビークでの教育支援を開始します。引き続き、「ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム スクール・フォー・アフリカ」を通じてのご支援をお願い申し上げます。



02 質の高い基礎教育を子どもたちへ

- サヘル地方および東部地方の**小学校357校**に「子どもにやさしい学校」スキームを導入。これまでに全国で**合計1,648校**に導入され、**34万5,125人の生徒**が質の高い教育を受けています。また、97校の学校管理委員会、PTA、母の会のメンバーに「子どもにやさしい学校」の考え方に基づく研修を実施しました。
- 教育省と協力のもと、約30年使用されてきた3、4年生のフランス語と算数の教科書、就学前教育のための単語の練習帳を改訂。テクノロジーや環境問題といった時代背景を反映させ、子どもたちがより適切な教育を受けられるようになりました。他の学年や教科においても改訂を進めていきます。
- サヘル地方の**小・中学校100校**に生徒会を設置しました。生徒、教員、学校長が意見を交換できる場となっています。



03 1人の子どもも取り残さない

- ブクル・デュ・ムン地方と東部地方の幼稚園、**小・中学校1,300校の教員**に「誰もが受け入れられる教育」に関する研修を実施。子どもの権利、物理的・社会的・教育的環境において誰もが受け入れられる学校作り、障がいのある子どもの支援方法について学びました。
- 東部地方の**学校に通っていない若者479人**を対象に職業訓練を実施しました。縫製、土木建築、自動車整備、農業、IT機器管理、理容など、その訓練内容は多岐に渡ります。
- サヘル地方では社会経済的に取り残されてきた子どもたちが学校に通えるよう、コミュニティに対する直接的な活動だけでなく、ラジオ放送を通じて教育の大切さを訴えました。
- 北東部の都市ドリの**女子大学生65人**とセノ県の**女子中学生385人**に奨学金を提供。女の子たちが生理を理由に教育を妨げられないことがないよう、月経衛生管理キットも提供しました。

